

青山学院大学 物理・数理学科 コロキウム

2020年度 第1回

下記の通りコロキウムを企画致しました。学生や分野の違う方にもわかるレベルから始めて下さるようお願いしてあります。どなた様もご自由に是非ご聴講ください(事前参加登録なし)。

(世話人：齋藤 拓也、連絡先：tsaito@phys.aoyama.ac.jp)
「主催：物理・数理学科、基礎科学コース、機能物質創成コース」

講演者 波多野恭弘 氏 (大阪大学宇宙地球科学専攻)

日時 9月2日(水) 午後3時5分から

場所 オンライン

Zoom リンク：ミーティング ID: 869 6377 7798

<https://us02web.zoom.us/j/86963777798?pwd=a2V1R2EzRUNxRWw3d2xHbmNTVkhHUT09>

講演題目 **地震発生に対する摂動の影響：実験と理論**

狭義の地震学は地震波伝播過程の解析が中心であり、その意味で本質的には線形弾性論・波動論の問題として地球科学分野で発展してきた。他方、地震波の起源は断層の滑り運動、すなわち巨大スケールの破壊・摩擦現象である。その理解なくして地震の本質的な理解はない。破壊や摩擦は力学的エネルギーが熱に散逸する非平衡過程であり、その意味で非平衡物理・統計物理の観点からも興味深い難問を豊富に提供する。本セミナーでは、そのごく一例として地震発生率の周期的変動(1年～半年周期)を紹介し、それがいかに反直観的か説明したあと、その現象を理解するために我々が行なっている実験と理論的試みについて簡単に紹介する。
